

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成29年2月10日（金）  
午前10時～午後2時4分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 市長 久保田桂朗、教育長 長屋勝彦  
総務部長 山田日出雄、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 森山稔、建設部長 西垣正則、消防長 堀尾明弘、教育こども未来部長 長谷川忍  
秘書企画課長 佐野 剛、同統括主査 加藤 淳、同統括主査 小出健二、  
協働推進課長 小松 浩、同統括主査 宇佐見信仁、行政課長 中村定秋、  
同主幹 佐藤信次、同統括主査 酒井 寿、税務課長 岡本康弘、同統括  
主査 大橋 透、都市整備課長 西村忠寿、同主幹 石黒光広、同統括主  
査 岡 茂雄、学校教育課長 石川文子
- 6 事務局出席者 議会事務局長 尾関友康、同主事 坪内裕紀
- 7 議長あいさつ
- 8 市長あいさつ
- 9 報告事項
- （1）執行機関からの報告
- ① 3月定例会に提出予定の議案について  
各部長：別添資料に基づき説明  
総務部長：報道発表については、2月22日（水）午前10時からを予定して  
います。  
塚本秋雄 議員：積算内訳書はいつから見られるのか。  
総務部長：議案と同じ告示日からです。
- ② 川井町・野寄町地区の土地開発について  
都市整備課統括主査：別添資料のとおり説明  
質疑なし
- ③ 公共施設再配置計画について  
都市整備課長：別添資料のとおり説明  
大野慎治 議員：市立体育館が岩倉北小学校内の施設に含まれているため、  
更新の話が宙に浮いている。岩倉北小学校内は一部更新することも説明し  
なければ体育館の更新が宙に浮いてしまうので、内部で検討してほしい。

都市整備課長：岩倉北小学校の市立体育館につきましては、資料の表には上げていませんが、事務局としては、直近に実施していく対象として考えています。

木村冬樹 議員：関係団体とのヒアリングは今後行われるようだが、大山寺の市営住宅は関係団体がいないため、このままいけば廃止になるのか。

都市整備課長：公営住宅の廃止につきましては、ただ単に廃止という結論が出たという話では済まされないと考えています。住んでいる人の今後も動向もあるため、さまざまな意見を伺い、最終的に判断することになると考えています。愛知県内にはありませんが、公営住宅の廃止を行っている自治体もあり、そこは民間に一旦出してもらい、家賃補助をして数年かけて廃止にするようですが、そこまではまだ考えていません。フローチャートでいけば、廃止となりますが、今後も調整を行っていきます。

鈴木麻住 議員：関係団体へのヒアリングが2月中に行われるようだが、施設数がとても多い。どのようなやり方をするのか。

都市整備課長：例えば、区長については区長会で行います。また、保育園関係は、保育園父母の会は代表が月に1回集まるので、その場で行います。実際は、個別ではなく全体が集まる場にて意見をもらいます。その場で意見が出るのかという指摘はあると思いますが、現在は全体の場で考えています。

#### ④岩倉市教育振興基本計画について

学校教育課長：別添資料のとおり説明

堀 巖 議員：パブリックコメントが8件あるが、これは何人から出た意見なのか。

学校教育課長：人数としては、1人の方になります。

#### ⑤その他

特になし

#### (3) その他

特になし

10 協議事項 2時間 55分 46秒

庁舎8階の空調について

行政課長：庁舎の構造として北側と南側の2系統のダクトがあり、北側は共産党の会派室から正・副議長室、議会事務局を通り、エレベーターホール

に行きます。実は、議会事務局が寒いという話は庁舎建設後すぐの平成 15 年くらいから話があったため、これまでも 3 回ほど対策を行っています。現状は、ロビーの空調の出口を絞り、もともとはなかった吹き出し口を議会事務局に追加し、さらに北側のダクトのラインの風量を上げています。しかし、先日それでも寒いという話があり、議会事務局の暖房の設定温度を 20℃にしています。構造上、屋上まで吹き抜けになっているロビーに冷たい空気が入り込んでしまいます。夏の冷房はフル稼働していますが、暖房についてはまだ全体的に余裕があるので、設定温度を上げることはできます。現在は、設定温度を 1℃上げた状態で様子を見ていただきたいです。現在の対策としては、設定温度を上げることはできません。

鈴木麻住 議員：風量はどうか。

行政課長：風量は、まだ上げられるのかは確認していません。

鈴木麻住 議員：建設当初から起きているということは、風量は足りないと考える。風量が足りないと温度を上げてても効果がない。また、ロビーの空調の出口を絞ってもオープンエリアのため効果が薄い。

行政課長：エアーカーテン的な効果を見込んで、カウンターの上のところに吹き出し口を作ったが、今のところ効果が見受けられません。

相原俊一 議員：庁舎 1 階の北側が、自動ドアが両方開くため風の強い日は市民も非常に寒そうである。職員も電気ストーブを入れていると聞いた。8 階だけではなく、1 階のエアーカーテンは機能しているのか一度調べてほしい。

鈴木麻住 議員：庁舎全体の空調システムは、何系統に分かれているのか。

行政課長：1、2 階と 3 階以上の系統に分かれています。

鈴木麻住 議員：議場は分かれていないのか。

行政課長：分かれていません。

大野慎治 議員：ロビーから冷気が入って来てしまうので、カウンターの一部分に福祉課にある下ろすカーテン設置できないか。

鈴木麻住 議員：庁舎の建設から 15 年が経過しているので、設備の更新時期にきていると思う。設備を更新するならばするで、予算を組まなければならないが、どう考えているのか。

行政課長：現在は、まだ考えていません。

鈴木麻住 議員：喫緊のことである。15 年経過していると故障する可能性もある。

行政課長：そのとおりです。夏の冷房については MAX で稼働していますが、それでも効きが悪い状況のため、考えなければならない。

鈴木麻住 議員：検討していかなければならないと考えるが、総務部長はどのように考えているのか。

総務部長：これまでもエアコンなどを保育園等に整備してきましたが、15年を経過するとさまざまな問題が出てきたと実感しています。修繕料も随分増えました。これだけの施設を更新していくのは難しいですが、できるだけ計画的に平準化できる場所を探っていかなければならないと考えています。しかし、まだそこまでものを持っていません。緊急で一部の機器の更新は行っていますが、全体の空調についてはまだ考えには至っていません。20年経過してから、バタバタしてはいけませんので、その前にとは一定考えています。一番の問題は費用だと考えています。

1 1 その他  
特になし